

2019年度 事業報告書

2019年4月 1日から

2020年3月31日まで

学校法人 サント・アンゼロ学院

1. 法人の概要

名 称 学校法人サント・アンゼロ学院（昭和40年4月13日法人設立）

代表者 理事長 砂場 由行

住 所 吹田市古江台1丁目17番1号

電 話 06-6872-3230

FAX 06-6872-4027

設置する学校

住 所 吹田市古江台1丁目17番1号

名 称 カトリックさゆり幼稚園

役 員 理 事 6名 監 事 2名 評議員 13名

理事会 4回開催 評議員会 2回開催

職 員 34名

2. 事業の概要

（ カトリックさゆり幼稚園 ）

《教育方針》

設立母体であるカトリック守護の天使の姉妹修道会の教育方針に沿って、園と家庭が一体となって幼児の基本的生活習慣と、望ましい人間形成の基礎づくりを温かい宗教的雰囲気の中で育成することを目的としています。教育理念の基本である、「素直な心」「思いやりの心」を育成し、最後まで「がんばる」ということを大切にして、その達成に取り組んでいます。

《教育内容》

基本的な生活習慣を身につけ、絵画製作、音楽、言葉、体操あそびをバランスよく保育に取り入れ、自分の力で行動することの充実感を味わいます。お祈り、聖歌、宗教的なお話を通して宗教的情操を養い、神様から頂いているたくさんのお恵みを知り、感謝の心を育てます。子ども達は愛されて生まれきたかけがえのない存在であり、「あなたのままでいい」と一人ひとりの存在を認め合う温かい環境の中で、子ども達をしっかりと受け止めて、お互いに認め合い、受け入れられることで、神の愛・喜びを感じる人間を育てます。様々な活動に興味や関心を持ち、積極的に取り組み、将来どんな試練にも立ち向かい、乗り越えていく「生きる力」を養います。

《目的・計画》

子どもは一人ひとり大きな能力をもってこの世に生まれ、愛されて育った子どもは自己を肯定し、他者を愛し、尊重します。そして、一人ひとりの子どもたちが愛され、「あなたが大好き」「あなたはとっても大切な人」と感じられるように、世界中でたった一人しかいない自分に気づき、個性豊かに自信をもって生きていくことができるように、私たち全教職員は心からの愛情を一人ひとりに注ぎ、日々の保育に取り組みます。

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	5	125	5	175	5	175	15	475
2018年度	4	118	4	120	4	133	12	371
2019年度	4	121	4	120	4	120	12	361
2020年度	4	108	4	120	4	121	12	349

《保育時間》

月～金曜日 午前9時30分～午後2時

《納付金》

保育料 3歳児 年額 300,000円
4・5歳児 年額 276,000円
給食費 月額 3,500円(10月より)
バス会費(利用者のみ) 月額 3,000円

《入園時の費用》

入園料 3歳児 80,000円
4歳児 70,000円
5歳児 60,000円(9月入園者30,000円)
検定料 3,000円
バス入会金 3,000円

《預かり保育の内容及び費用》

☆通常保育日

早朝保育 8:00～ 8:30 200円
午前保育 11:30～ 15:30 800円
11:30～ 17:00 1,000円
11:30～ 18:00 1,400円
1日保育 14:00～ 17:00 800円
14:00～ 18:00 1,200円
長期休暇 8:00～ 17:00 2,500円
8:00～ 18:00 3,000円

☆月極保育 8:00～ 18:00 17,000円 30,000(8月)

《行事実施状況》

遠足(春・秋)、参観日、聖母の祝日、お泊まり会、プール開き、七夕さま、教会訪問、守護の天使お祝い、運動会、おもいほり(年長児)、七五三お祝い、さゆりまつり(縦割り活動)、クリスマスお祝い会、おもちつき大会、お別れ遠足(年長児)、お別れ会

《施設関係》

園地面積 3,617㎡ 運動場面積 1,360㎡ 458㎡のホール
図書室(預かり保育・未就園児保育)

《設備関係》

園児バス(りす号)・裁断機・紙折り機 購入 サウンドシステム (卒園記念品)
図書室床の抗菌マット張り替え・職員室移転リフォーム

《事業報告》

2019年度の事業は、前年度より園児数が10名減少したものの、保護者の協力を得て教職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

2020年2月29日、安倍首相は、新型コロナウイルス感染抑制のため、3月2日から全国すべての小・中・高・特別支援校の臨時休業を発表した。更に、4月7日、緊急事態宣言を7都府県に発出し、4月17日、緊急事態宣言を全国に拡大、5月6日まで感染抑制のため、学校の臨時休業が要請された。医療機関が崩壊しないよう、感染数の推移から、5月4日、休業期限が5月末まで延長された。この間、教育現場の再開の方策と合わせて、9月からの新学期が同時に検討されることになった。この先、予断を許さない状況が続くが、当園としては、保育再開後、園児がスムーズに過ごせるよう、保護者と連携しながら準備を怠らないようにする。

さて、2019年10月より幼児教育の無償化が実施されているが、新制度移行の流れが緩やかになり、令和2年度、195園が私学助成を継続している。

一方、新型コロナウイルス蔓延のため、経済状況は、大恐慌時以上に悪化している。今まで、教員免許取得者が流れていた業界においても、採用抑制となることから、教職員採用においては、やや改善することが期待できる。

以上のことを踏まえ、当園としては、幼児教育の無償化への理解を深め、事業継続を諮る。また、監督官庁の調査に、しっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努める。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が212,339千円(前年度232,929千円)、教育活動支出計213,676千円(前年度241,031千円)、教育活動収支差額▲1,337千円(前年度、▲8,102千円)、経常収支差額比率▲0.21%(前年度▲3.09%)となった。

また、人件費比率(人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計)は、61.70%(前年度58.80%)となり、前年度より増加した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金(第4号基本金)の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。